

SDGs みらい都市の 実現に向けて

誰もが働きがいのある社会の実現

品川区は「SDGs未来都市しながわ」の実現に向けて、「誰もがいきがいをもち、自分らしく住み続けられる品川」を目指した取り組みを推進しています。

その取り組みの一環として、サステナビリティを「現在の世代の誰もが経済的繁栄と幸福を享受できる社会を創り、将来の世代にその社会を受け渡すこと」と定義して社会課題解決に取り組んでいる三井住友銀行と連携し、ダイバーシティ&サステナビリティの取り組みを進める品川区企業を交えてあらゆる世代で課題を共有し、持続可能な社会の実現を目指すSDGsフォーラムを開催いたします。

2023
11/29 水

13:00～16:30

会場150人
オンライン200名

※定員に達し次第受付終了

参加費
無料

ハイブリッド開催(リアル/オンライン)

会場 大崎ブライツコアホール

品川区北品川5-5-15 大崎ブライツコア3階 (JR大崎駅から徒歩8分)

オンライン Zoomウェビナーを使用します

申込方法 どちらも下記URLかQRコードからお申込みください。(QRコードは特許登録商標です)

<https://shinagawa-innovation.com/sdgs2023/>



【主催】品川区、一般財団法人品川ビジネスクラブ、株式会社三井住友銀行
【後援】関東経済産業局、大田区、川崎市

【問い合わせ先】
株式会社キャンバスクリエイト オープンイノベーション推進部 TEL:042-490-5728
お申し込み時にご提供いただいた個人情報は主催者で適切に管理いたします。



タイムスケジュール

1 13:00-13:10
開催挨拶 品川区長 森澤 恭子

2 13:10-14:00
第一部 特別対談

テーマ 「ダイバーシティ、ジェンダー平等」



品川区長
森澤 恭子



インフィニティ代表取締役
/ 世代・トレンド評論家
牛窪 恵氏

司会・進行



テレビ朝日
アナウンサー
平石 直之氏

14:00-14:10 途中休憩

3 14:10-15:20
第二部 企業の取り組みのご紹介

テーマ 「サステナビリティ」

社名	プレゼンタイトル
株式会社吉村	無意識の男女別役割分担意識の変革を実現した会社経営
コグニティ株式会社	テレワーク定着・浸透に向けたコミュニケーション施策とは?
株式会社スルシィ	『エシカル x フェアトレード』のバッグブランド、スルシィの持続可能なモノづくり
株式会社学研ホールディングス	学研グループに期待されるサステナビリティとは
パンチ工業株式会社	パンチ工業が目指すサステナブルなものづくり企業
BEENOS株式会社	A long running company ~持続可能性を高める
一般社団法人コレクティブアクション	中小企業だからこそできる!『サステナビリティ経営』

15:20-15:30 途中休憩

4 15:30-16:30
第三部 トークセッション

テーマ 「SDGsみらい都市の実現に向けて」

聞き手	(株)ラヴィプラス	(株)ウツワ	(株)三井住友 フィナンシャルグループ
品川区長 森澤 恭子	栗田 加奈子氏	ハヤカワ五味氏	高梨 雅之

12:30～17:30 ホワイエにてフォーラム登壇企業によるブース出展を行います。
是非お立ち寄りください

登壇者プロフィール紹介

2

13:10-14:00
第一部 特別対談



品川区長
森澤 恭子

1978年生まれ、神奈川県出身。慶應義塾大学法学部卒業後、日本テレビ、森ビルなどを経て2017年東京都議会議員選挙に初当選。2021年同選挙2期目に当選し、都議会議員を務めた後、2022年12月品川区長に就任。特別区の女性区長は4人目、品川区では初。趣味はヨガ、ダンス。家族は夫と二人の子ども。



インフィニティ代表取締役
／世代・トレンド評論家
牛窪 恵氏

2001年、マーケティングを中心に行う有限会社インフィニティを設立。同代表取締役。積水ハウスほか、企業と共同で商品開発を多数行う。トレンド、マーケティング関連の著書を通じ、「おひとりさま」「草食系男子」「年の差婚」などの言葉を世に広めた。2019年3月、立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(MBA)修了。現在は同客員教授。修士論文のテーマは「働く既婚女性の調理外部化に関する一考察」(優秀論文賞を受賞)。2023年9月発売の新作『恋愛結婚の終焉』(光文社新書)では、恋愛と結婚の切り離しや新時代の「共創結婚」を大胆に提言。

3

14:10-15:20
第二部 企業の取り組みのご紹介



14:10-14:20
(株)吉村
代表取締役
橋本 久美子氏

1932年創業の老舗、株式会社吉村の代表を務める。さまざまな商品のパッケージのデザインから生産、納品まで一括して行う会社、日本茶のジャンルでは8000件もの取引先を持ち、「日本茶で日本を元気に」のスローガンの下、ユニークな商品開発で注目される。一方、228名の社員一人ひとりの名前が言える関係性で、ダイバーシティ経営や女性活躍の観点から、経済産業省や中小企業庁などから数々の表彰を受けている。品川区内企業。品川区の関連する産業団体の役職を歴任。



14:20-14:30
コグニティ(株)
代表取締役
河野 理愛氏

徳島県出身。慶應義塾大学在学中の2001年にNPO法人を設立、代表に就任。2005年にソニー(株)、2011年に(株)ディー・エヌ・エーを経て、2013年に特許取得のAIでコミュニケーション分析サービスを提供するコグニティ(株)を設立。「テレワークだからこそ実現できることがある」という理念の元、約220名・年齢は19～70歳のテレワーク雇用を創出。2021年度に「第22回テレワーク推進賞」の実践部門優秀賞、2022年度には「第3回TOKYOテレワークアワード」にて推進賞を受賞するなど、注目を集めている。同社の理念は「技術の力で、思考バイアスなき社会を」。



14:30-14:40
(株)スルシイ
代表取締役
関谷 里美氏

女子美術大学短期大学部卒業後、40カ国を超える国を訪問。1984年、青山に輸入雑貨店「CAT HOUSE」をオープン。2010年、同店を閉店後に訪れたフィリピン・セブ島の旅行中に民芸品のカゴと出会いフェアトレード事業構想へ発展。2011年11月、株式会社スルシイを設立。フィリピンの編み子さんと共に持続可能なモノ作りを目指している。著書に「『編むということ』(2021年/カナリアコミュニケーションズ)などがある。第5回ウーマンズビジネスグランプリのファイナリスト。



14:40-14:50
(株)学研ホールディングス
サステナビリティ推進室長
木島 麻子氏

学研グループは、創業者・古岡秀人の「戦後の復興は、教育において他にない」という信念に基づき、『学習』『科学』『学研教室』などの教育事業によって、学ぶ機会が不足していた当時の日本の社会課題解決に挑んできた歴史をもつ。現在は、少子高齢社会の課題を事業によって解決する医療福祉事業と教育事業、2つの柱を掲げ、持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営に取り組んでいる。今年グループ初の統合報告書を発行。



14:50-15:00
パンチ工業(株)
経営戦略室
セクションチーフ
萱間 友一氏

1975年創業の金型部品メーカー。自動車、電子機器、家電製品を製造するためになくてはならない「金型」を構成する多種多様な「金型部品」を製造販売している。2022年7月に地球環境・社会へ貢献するとともに、さらなる企業価値の向上を図ることを目的としてサステナビリティ委員会を設置。地球環境への配慮、人権の尊重、人的資本への取り組み、「製品・サービス」の品質・価値の追求、コーポレートガバナンスの向上等に取り組んでいる。



15:00-15:10
BEENOS(株)
常務執行役員 兼
サステナビリティ推進
担当執行役員
笠松 太洋氏

当社BEENOSはEコマースを主力事業とするグループ企業で、日本と海外を双方向につなぐグローバルな事業展開を強みとしている。中核は日本の商品を世界118の国や地域に販売するサポートを行う越境Eコマース事業であり、国内最大級のサービス「Buyee」を運営し、累計4000件以上の支援実績を誇る。また、国内外へのベンチャー投資活動もっており、海外50社以上、国内10社以上の投資を行い、出資先の中からユニコーン企業も誕生している。今後は従業員を含むステークホルダーの可能性を広げるような企業になるべく、世界中の人やモノ、お金がもっと簡単に流通、行き来するようなダイナミックな世界を目指していく。



15:10-15:20
(一社)
コレクティブアクション
代表理事
松川 恵美氏

2019年(一社)コレクティブ・アクション設立、代表理事。国際環境NGOであるCDPのセールス/マーケティング/パートナーシップのリード兼任。サステナビリティ経営戦略、脱炭素経済への移行、ESG投資などが専門。主に上場企業や金融機関向けにコンサルティングを提供。一方でサステナブルな未来を志す中小企業や起業家に、世界最先端の知識を届けるため、仲間と協働するフォーラムを地元品川で主催している。



司会・進行
テレビ朝日アナウンサー
平石 直之氏

1997年、テレビ朝日に入社。『ニュースステーション』、『スーパーチャンネル』、『サンデー・フロントライン』、『報道ステーション』などで全国各地を飛び回る。2004年6月から1年間ニューヨーク支局に勤務。六カ国協議(北京)、上海万博、韓国コンピョン島砲撃事件、ニュージーランド地震、パリ同時多発テロ事件など、海外取材の経験も豊富。現在はインターネット番組「変わる報道番組 ABEMA Prime」進行を務め、10月よりテレビ朝日「サンデーLive!!!」に出演。著書の『超ファシリテーション力』は、読者が選ぶビジネス書グランプリ2022のビジネス実務部門賞を受賞。

4

15:30-16:30
第三部 トークセッション

聞き手
品川区長 森澤 恭子



(株)ラヴィプラス
代表取締役
栗田 加奈子氏

コミュニティデザイナーとして、大崎・五反田エリアを中心に「地域活性化」をテーマとした様々なイベントを企画運営。17年にわたるコミュニティ運営歴を活かし、スポーツ選手や女優・個人事業主のコミュニティ立ち上げサポートも行っている。2020年からスタートしている第4世代の若者を中心としたコミュニティ「4th Place」は、全国から400組以上の親子が参加。地方創生や探究学習のプロジェクトは30を超え、1000回以上のイベントを開催。



(株)ウツワ
代表取締役
ハヤカワ 五味氏

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。高校生の頃からプリントタイプ類のデザイン・販売を行い、大学在学中に胸が小さい方向けのランジェリーブランドの《feast》を立ち上げる。2015年、女性向けアパレル企画とネット小売りの『株式会社ウツワ』起業。アパレル業界で活躍を続け、2022年にユークレナグループに参画、同社のサステナブルブランド戦略室にてブランドマネージャーを務め、「はたらく女性の妊娠と出産」をテーマに、新ブランド「ソリューム」を立ち上げた。



(株)三井住友
フィナンシャルグループ
グループチーフ・
サステナビリティ・オフィサー
(CSuO)
高梨 雅之

2022年4月に当社及び三井住友銀行のサステナビリティ企画部長に就任。2023年4月よりグループCSuOを兼務。1993年に住友銀行(現三井住友銀行)に入行し、企画部にて当社初の統合報告書(2016年発行)の作成を主導したほか、三井住友銀行欧州営業第五部共同部長として欧亜中東地域におけるサステナブルファイナンスを推進。現職就任後は、当社グループ全体のサステナビリティ戦略を統括。